

平和の大切さ

中野 郁奈

私が広島で一番心に残ったのは、広島平和記念資料館と子ども代表の誓いの言葉です。

資料館では入ってすぐの平和監視時計に核実験から83日と書いてありました。逆にいえば83日前に核実験が行なわれていたということになります。これを見た私は、改めて核の恐ろしさを様々な人に伝えるべきだと思いました。さらに中に入ってみるとまさに地獄の

ような絵や写真が広がっていました。町はこんな惨状になり、川にはたくさんの人がういていました。明るかった朝が一瞬にして夜になりました。人もおぼけのようになっています。被爆者の言葉が書いてある場所では、今までに味わった事のない地獄。毎日狂うような気持ちだった。などと原爆がどれだけ恐ろしいものか教えてくれました。しかし地獄は何年にも続いていきます。被爆した後、放射線によって白血病を発症しなくなりました。ただ子さん

という女性がいいます。でも、同じようにして
苦しんでいる人はまだいるといいます。あの
一発の爆弾が広島にいた全ての人の人生を大
きく変えたのです。私は資料館に行くと、原
爆によって起きたことをたくさんの人に伝え
ようという気持ちになりました。
子ども代表の誓いの言葉では外国の方にも
伝わるような話し方で原爆や平和について話
していました。特にベトナムに残った所は、願う
だけでは平和はおとずれません。朝鮮やカン
日常を守り、平和をつくっていくのは私たち
です。一人一人が相手の話をよく聞くこと。
「違い」を「良さ」と捉え、自分の考えを見
直すこと。仲間と協力し、一つのことを成し
遂げることに。私たちにもできる平和への一歩
です。」という所です。確かに願うだけでは平
和になれないし、だからといって戦争を止め
ることもできないと思いました。でも拳げて
くれた平和の一步なら、私も踏み出す事がで
きると思いました。

私は今回広島へ行。て一日目には原爆によ
て起きた事を伝える大切さを、二日目には
原爆によ、て起きた事、平和の大切さを伝え
ていく事が平和への一歩である。気付く事
ができました。私はこれから、それを行動に
うつす事から始めようと思います。また、科
学を原爆のような人を傷付ける事に使わない
ことは、日常の中でも学んだことを悪い事に
使わないことと同じだと考えます。私達はこ
れからの人生で知識をいいことに、平和のた
めに使、ていけば、世界が少しずつ平和にな
ていくと思います。